

ペレットストーブお掃除チェックシート

ついつい忘れてしまいがちな月に一度のお掃除と、シーズンオフのお掃除を項目ごとに記録出来るシートです。お掃除した日にちを記録して、次のお掃除の目安にしてください。気づいた事や、必要な事が出来たら、下のメモ欄をお使い下さい。末永く使って頂くために、日々のお掃除と、おつかれさまのシーズンオフケアをよろしくお願いします。

※機種によってこれ以外に必要な項目がある場合があります。その際は空欄の項目をご使用下さい。

掃除した日								
タンク	／	／	／	／	／	／	／	／
熱交換部	／	／	／	／	／	／	／	／
パッフル	／	／	／	／	／	／	／	／
排気トップ	／	／	／	／	／	／	／	／
燃焼室全体	／	／	／	／	／	／	／	／
排気ファン	／	／	／	／	／	／	／	／
排気筒	／	／	／	／	／	／	／	／
本体背面	／	／	／	／	／	／	／	／

おそうじメモ

当パンフレットについてのお問い合わせはコチラ

特定非営利活動法人環境ネットやまがた（山形県地球温暖化防止活動推進センター）

（本部）

電話：０２３－６７９－３３４０

〒990-2421 山形県 山形市 上桜田 3丁目 2-37

URL：<http://eny.jp>

（山形県環境科学研究センター情報室）

〒995-0024 山形県 村山市 楯岡笛田 3丁目 2-1

電話：０２３７－５２－３１３２

このパンフレットは平成26年度地域活動支援・連携推進事業（環境省補助）を活用し、作成しています。

ペレットストーブ おそうじガイド

ペレットストーブは、環境にやさしく、手軽に火のある暮らしを可能にするストーブです。末永く使っていただくためにも、日頃のお手入れは欠かせません。

面倒と思われがちな日々のお手入れは「毎日のお手入れ」「月に一度のお手入れ」「シーズンオフのお手入れ」と、大きく3つに分けられます。この冊子で要点を理解して実践してくれたら、きっと日々のお手入れも面倒ではなくなるはずです。

ペレットストーブをご利用の方も、これから導入を検討されている方も、この冊子を読んで、ペレットストーブにとって大切なお掃除について理解し、末永くご使用いただくために是非ご活用ください！

※機種によって掃除の方法が異なる場合もございます。具体的な機械の使用方法、部品の扱い方で不明な点は取扱説明書に従い、詳しくは販売店にお尋ねください。

おそうじ道具はどんなものがあるの？



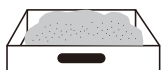
はけ・小ぼうきなど



柄付ブラシ



目打ちなど



灰の受け皿や敷物

燃焼ポット内の灰を掃きだしたり、払う時に使います。ブラシの幅の狭いはけは隅々まで掃除出来て、少し毛の固い小ぼうきやはけは万能に使えます。お持ちのストーブに適した物を選びましょう。

ワイヤータイプの長い物は排気筒の掃除に適していて、シーズンオフの掃除の必需品です。こびりついた汚れにはしっかりと持てる短いブラシを使います。お掃除する箇所に応じて使い分けましょう。

灰や灰の固まりが燃焼ポットの穴に詰まったときに使います。

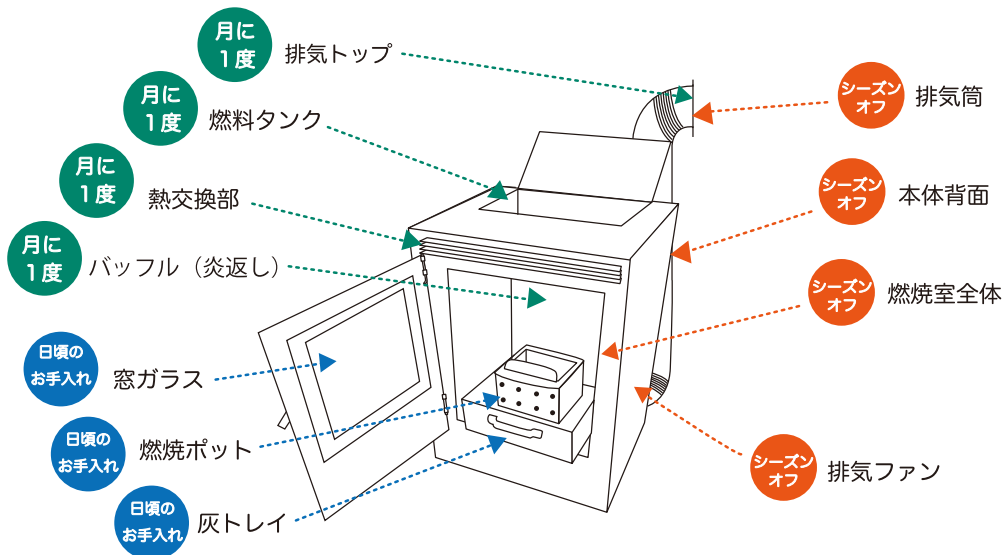
掃き出した灰を受け取る容器として使います。そのほか、灰を掃き出した時に床を汚したくない場合は新聞紙などの敷物を敷き、掃除機を用意しておくとう便利です。最近ではペレットストーブ専用の掃除機も市販されており、各部の灰取りなど、ストーブ全般の掃除に便利です。



注意

家庭用掃除機で大量の灰を吸うと故障の原因となることがあります。消火直後の灰は熱を持っているため、掃除機内で引火する危険性があります。灰が完全に冷めてからお掃除しましょう。

どんな所をおそうじするの？



注意

この図はあくまで掃除の項目、掃除が必要となる時期を示すための目安です。機種によって各掃除箇所の設置箇所と、お手入れが必要になる時期が異なります。お使いのストーブの説明書に従い、対応してください。

1. 日頃のお手入れをするところ

窓ガラス

炎を楽しむためにも、安全な燃焼をチェックするためにも、窓ガラスの掃除は欠かせません。毎日のお手入れは水ぶきだけでOKです。灰がこびりついた場合は少量の灰をつけてこするときれいになります。

燃焼ポット

灰やクリンカ※がポットの穴を塞ぐと空気を取り込めず不完全燃焼を起こします。運転前に灰を捨て、はけや、小ぼうきできれいに掃除しましょう。頑固な塊は目打ちなどでポットの穴から突くと簡単に除けます。

※灰が溶けて固まったサクサクした塊

灰トレイ

たまった灰は適時捨てましょう。灰トレイはきちんと戻さないと着火不良や立ち消えの原因となるので注意しましょう。

2. 月に1度のお手入れ

燃料タンク

タンクの底に木の粉がたまるとペレットがスムーズに燃焼室へ送れなくなります。タンクが空の状態ですべての粉を掃除機で吸い取りましょう。シーズンオフの間はペレットが湿気で固まってしまう詰まりの原因にもなります。スクリュウを空回しするなどして（出来ない機種もあります）使わない期間はタンク、スクリュウ内は空にしておきましょう。

熱交換部

熱交換パイプにすすが付着する機種は、すす落としノブやハケを使ってすすを落としましょう。熱交換パイプがすすで覆われると燃焼効率が低下します。

バッフル

燃焼室のバッフル（炎返し）を外して裏側を掃除します。すすがたまると燃焼効率が低下します。

排気トップ

排気筒の外側の出入り口にあたる、排気トップに網を取り付けている場合はすすがたまると詰まり、不完全燃焼を起こす原因となるので、月に一度はお掃除してください。

3. シーズンオフのお手入れ

燃焼室全体

1と2のお掃除を最後に行います。燃焼ポットや灰トレイなど外せる物は洗ってきれいにします。こびりついたすすはコテやワイヤーブラシで落とし、よく乾かしてから戻しましょう。燃焼室内に灰が残っていると湿気を含み、錆びの原因になります。

排気ファン

ブラシや掃除機などで灰やすすを掃除します。手が届かない場所に設置されている機種もありますので、その場合はメーカー、販売店に相談してください。

排気筒

排気筒を外してすすを柄付きのブラシなどで掻き出します。本体からすぐの曲部や横引部分はすすがたまりやすいので念入りに。夏場は外の空気との温度差でストーブ内部に錆びを作る恐れがあります。また、排気トップ（排気筒の上部）から鳥や虫が入ってしまう恐れもありますのでシーズンオフの間は、給気口、排気トップは蓋をしておきましょう。給気口には新聞紙などの詰め物を入れるだけでも効果があります。（来シーズン使う時は取り忘れないように注意してください）。

本体背面

本体背面にたまったホコリを払います。側面を開いて掃除できる機種もあります。使わない期間は電源コードを抜いておきましょう。